

村長再選の挨拶

私は、昨年10月27日告示、11月1日選挙の知夫村長選挙におきまして無投票により引き続き村政を担う事となりました。村民の皆様方から「2期目で真価を見せろ。」という叱咤激励を込めての結果であろうと思うところであります。

私は、そうした村民の皆様方の無言の激励とご支援に改めて責任の重さを痛感するとともに、村民の皆様方の負託を真摯に受け止め「安心して心豊かに暮らせる島」、「次の世代へ胸を張ってバトンを渡せる村づくり」を目指し、1期目で実現できなかった施策と喫緊の課題である村内公共交通網の整備や新型コロナウイルス感染症への対策など、知夫村が抱える多岐にわたる行政課題に全力を傾注する所存でございます。

村民の皆様方、そして議員各位におかれましては、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、心からお願ひ申し上げます。次期であります。

率先垂範の議会活動を目指して
知夫村議会の五つの変革

議長 横川 正



- ①議員の顔がみえないの声に対応して、「存在感の提示の一助のために、惜しみない発言ができるように、毎月開催する「全議員協議会」での発言については、拳手をし、議長に発言の許可を求める行為は必要としないこととしております。
- ②議員の率直で、ありのままの意見を幅広く村政に反映させるために、惜しみない発言ができるように、毎月開催する「全議員協議会」での発言については、拳手をし、議長に発言の許可を求める行為は必要としないこととしております。
- ③「議会は何しているの疑問に対応して、「コロナ対策議員懇談会」や「水産加工施設に関する研究会」などを開催するとともに、「地区懇談会の開催要求」など、議会として「組織的な活動」の実施や要求をすることとしております。
- ④「予算」の審議については、執行部に、より丁寧な説明を求めて、各議員が十分に理解し、納得したものを予算とすることを旨とするとしております。議員の間で意見が対立するような場合には「採決」もあり得ます。
- ⑤執行部の提案をそのまま受け入れるのではなく、議員の主体性を求めて意見を統一し、議会の総意として、場合によっては、「議員提案」「発議」などの建設的な提案をすることとしております。

議会だより

12月定例会

令和二年十二月九日十二月定例会が開催され、村長の新型コロナウイルス感染症第三波について、感染防止のための自粛へのお願い等の挨拶後に、同意案一件、専決処分に係る承認案三件、条例案三件、補正予算案五件の計十二案件が上程され、原案どおり可決されました。



金崎議員

諸般の報告

令和二年十二月七日令和二年度隠岐広域連合第二回臨時議会について、金崎議員より報告が行われました。
上程された案件は、隠岐広域連合副連合長の選任同意案一件、専決処分に係る承認案二件、条例案二件、補正予算案二件の計七案件が原案どおり可決されました。

主な案件内容は、島前病院事業の補正については、県補助にて新型コロナウイルス対応費用で備品、感染対応従事者慰労金が計上されました。また、隠岐病院事業についてもコロナ備品費と感染症対策従事者慰労金が計上されました。

村政のことを聞く

一般質問

一般質問は二名の議員が、村長に所信を伺いました。

Q

①インフルエンザ流行時の新型コロナウイルス感染症対策について

インフルエンザ発症時におけるコロナ感染予防対策についてどのような体制を整えていくのか、また、本村に感染者が発生した場合の偏見対策を含めた具体的な対応方法について、村長の考えを伺います。



山本議員

②情報発信の充実について

現在イターナーの方による情報、発信が盛んに行われています。こうした方の協力も得て、住民サービスとしての情報発信の充実を図ってはいかがと思いますか、取組について、考えを伺います。

③空き家・危険木対策について

空き家は、個人問題から地域社会で共有すべき深刻な問題として考える必要となつていきます。住民の安全安心を守るための空き家、危険木の対策について、考えを伺います。

村長

①新型インフルエンザ・新型コロナウイルス



ス発症時における現状に鑑み、知夫診療所横に「発熱外来施設」を設け、発熱患者と他の患者さんを分けた診察ができるように対処します。また、隠岐保健所担当職員による、役場職員をはじめとして接触者の多い職場の職員を対象とした勉強会を実施しています。感染者への偏見対策については、当事者の立場を理解した慎重な言動や行動を心掛けていただきたいと思います。村民の皆様には、マスクの着用、手洗い等の感染予防の徹底を心掛けていただくことをお願いいたします。

Q
① JFしまねにおけるA重油、軽油販売について
JFしまねについては、危険物責任者が不在のために販売時間短縮となり、給油しないと油タンクが空になる船もあることより、危険物取扱責任者の配置を行い漁に支障がないようにしていただきたいと思います。村長の考えを伺います。



並河議員

②村内運行バスについて

新たにバス利用の時間帯、停留場所等のアンケート、利用状況調査について、また、来年四月から予定されている本運行における事業形態について、考えを伺います。



試験運行バス

村長

① JFにおいては、組織を支えて頂いている漁業関係者や地域を重視した組織運営に当たられることを切に願っております。

② 来年四月からの本格運行に向け、十一月より三名の集落支援員を雇用して一日六便の村内巡回バスの試験運行を実施しています。ご利用される村民の皆様のご意見や島根県などの関係

12月定例会の主な決議案件

- 副村長に田上俊氏を選任同意した
- 職員の手当○五月引き下げ
- 令和三年度より、稼働する知夫村水産物加工場の設置及び管理条例制定
- 補正予算関係
- 人事院勧告に基づく職員手当減額補正
- コロナ感染による各種イベント旅費等補助金減額補正
- 役場三階空調工事費三百九十八万円増額補正
- 新型コロナウイルス感染症隔離施設・ログハウスポンプメーター工事費六百万円増額補正
- バス試行運転集落支援員三名報酬二百九十七万円増額補正



水産物加工場建設



多沢住宅建設



保育所建設

島根県町村議会議員研修会 令和2年10月2日(金) 松江市プラバホール

「新型コロナ禍から地方が見える」
講師 中央学院大学 福嶋浩彦氏
「島根の町村が牽引する日本の地域作り」
講師 農村ジャーナリスト 甲斐良治氏



(講演内容)
議会の役割を果たす方として、議員が自分の支持者の要望実現を主張し行政に迫るだけでなく、議会は自治体の意思決定機関であり、議員同士の議論、討議を中心とした議会運営をしなければ、議会は時代から取り残されることになるという提言内容の講演会でした。

議会・議員活動報告

- 11月
 - 全員協議会
 - 月例監査
 - 島前町村組合臨時議会
- 12月
 - 全員協議会
 - 広域連合議会運営委員会
 - 第一回広域連合議会臨時議会
 - 十二月定例会
 - 島前町村組合定例会
 - 月例監査
 - 中学生成果発表会及び懇談会
 - 第6次総合振興計画策定会議
 - まちひとしごと創生総合戦略策定委員会議